

核禁条約が22日発効 いよいよ核兵器廃絶へ

核兵器禁止条約が1月22日、51カ国の批准で発効します。

これまで大量破壊兵器といわれたものが40余年の間に、生物兵器禁止条約（1975年）、化学兵器禁止条約（97年）、対人地雷禁止条約（99年）、クラスター爆弾禁止条約（2010年）で禁止され、流れは大きく禁止の方向に向いてきました。

ここに核兵器禁止条約の発効で、いよいよ最悪の大量破壊兵器・核兵器との対決です。

現在、核兵器保有国はロシア6372発を筆頭に、アメリカ5800、中国320、フランス290、イギリス195、パキスタン160、インド150、

イスラエル90、北朝鮮35で、合計1万3410発に達します。

核禁条約は核「廃絶」条約ではないので、廃絶するまでの道のりがありません。

条約作成で重要な役割を果たしたノルウェーのストーレ外相はこう演説しました。

「核の危険は全人類に及ぶから核削減交渉を保有国だけに任せてはいけない。核軍縮を最もやる気のない国に拒否権を与えてはいけない。対人地雷・クラスター爆弾禁止条約が中小国や市民の力で発効した教訓を核兵器にもいかすべきだ。」

「ある兵器について考える時、（抑止）など兵器の使用目的だけで

なく、使用した際の影響が重要だ。その実際の影響を一番よく知る市民、犠牲者の声を聞くべきだ」

経済や人口の中小国をあげているが、核禁条約をつくりあげた51カ国のほとんどが中小国で、私が初めて知った国は8割ほどです。

（青山・記）



（長崎の山王神社の鳥居。もともとは4つあった鳥居のうち、原爆でこの鳥居だけが片方の柱を残し、今も同じ場所に立っている。）

吉村みえこ 街頭演説



1月20日(水)

- 15:30～ 藤島ふれあいセンター前
- 15:50～ JA庄内たがわ本所前
- 17:00～ JA羽黒支所前
- 17:50～ 櫛引生涯学習センター前
- 18:20～ Aコ～P朝日前

老いて生きがい(5)

鈴木重雄（八色木・93歳）

■山の草刈り
小学校夏休みの頃は山の草刈りで忙しい。草は農耕馬の越冬用の飼料や堆肥にしていた。馬の背に鞍を乗せ野草を積んで帰る。私は鞍に乘せられ草刈場に行った。草刈場は山の嶺で、広い嶺のあちこちに赤松が日陰をつくっていた。ここが昼食場である。庄内平野に村々が点在し最上川が川の字のように流れている。馬は自由に草を食べている。草刈鎌で一条に長く寄せ刈りして、3〜4日位で乾燥する。乾燥した干し草を藁

馬の背にカランカラんと鈴を下げていた。これは曲がり角など、くねった山路で行き交う人の交通サインである。青草の甘酸っぱい香りがよい。そして松の日陰で庄内平野を眺めての昼食が嬉しかった。途中清水が湧き水がうまかった。道端の山百合の根を掘ってくることもあった。苦もあつたが楽しさもあつた思い出である。

（つづく）



（写真）石坂洋次郎の小説「草を刈る娘」の日常生活映画（1961年・西河克己監督）

ぼっぼの湯の湯の再生めざし 18日に地元運営組織の発足

長沼温泉「ぼっぼの湯」の再生をめざし、新たな地元運営組織の設立総会が18日（月）、長沼地区地域活動センターで、午後1時30分から開催されます。

これまで運営を担ってきた第3セクター「ぶじの里振興（株）」から転換し、再出発を図ります。主催は運営協議会設立準備会（大沼富美雄委員長）で、長沼温泉振興会会員や組織代表者、賛同者に参加を呼びかけています。

東京マラソンと大江戸温泉物語

奥井良幸（旧温海町）



毎年3月に開催されてきた東京マラソンは今年も残念ながら開催は不可能になってしまったようだ。

私は走るのが趣味で、温海温泉の「さくらマラソン」を始め、県内外の大会でも走ってきた。

マラソン大会で、参加者が抽選というような大会には出た記憶は無いが、運よく走れたのは東京マラソンだ。石原慎太郎都知事のスタート合図で、新宿の都庁前から出発して東に向かい四谷へ、防衛省前では、自衛隊音楽隊員が激励の演奏をしていた。

その後皇居に出て、約5キロの皇居を一周し（転勤で東京にいた時は時々走ってた）、竹橋では前の勤務先を左に見て日比谷通りを進むと、右には日比谷公園（野外音楽堂でキャンディーズが引退コ

サートをした、更に南に向かうと、討ち入りで有名な芝増上寺が見え、傍の公園ではフラダンスのサークルが踊りを披露していた。

走るにつれ右手に東京タワーが見え、間もなく最近出来た山手線の高輪ゲートウェイ駅へ、ここが折り返しだ。

折り返して日比谷まで戻り、東京駅を右手に見て上野から浅草へ向かうと、浅草の各商店の前では人形焼やカステラ、ラスク、クッキー等が振る舞われ、再び元気が戻り、お台場のゴールまで最後の力を振り絞り、42・195kmを完走できた。

☆☆☆
せっかく東京へ来たので、お台場の「大江戸温泉物語」で温泉を楽しむことにした。

大江戸温泉物語には、新橋から「ゆりかもめ」で行くが、駅の階段を下りると入口があり、



2600円の入場料を払い、まず好きな浴衣を借り、更衣室で着替えて中に入ると、映画のロケ地のような火の見櫓を中心し、蕎麦屋や居酒屋、土産物屋等の江戸の街が広がり、その先に大浴場や露天風呂等があつて、江戸情緒たつぷりだった。時間によつては皿回しや猿使い等の大道演芸もあり、笑いを誘つた。

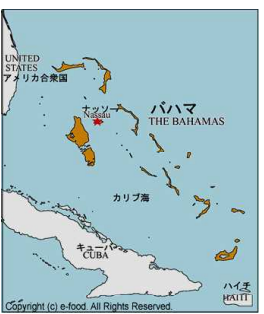
東京でお湯に入ると聞けば、大方の人は昔ながらの庶民の湯「銭湯」、でも東京都内にもいくつか温泉が湧き出ている所があるそう。

最近が高尾山口や各地に温泉が掘られたが、最初の天然温泉は浅草の浅草寺近くの銭湯だけだったそう。

世界の国々 バハマ（中米）

コロンブス像の破壊横行

青山崇



コロンブス一行300人が最初にサン・サルバドル島に上陸。「コロンブスによるアメリ

れた。

約700の島々と2400の岩礁からなるほぼサンゴ礁の群島である。

うち、30の島々に人が住んでいる。ニュー・プロビデンス島にバハマの首都ナッソーがある。

経済は、観光業と有名になったタックスヘイブン（低課税地域）の金融業である。

面積は福島県ほど、人口35万人、うち85%が黒人である。

最後に、コロンブスについても、先住民の



民主主義は

米国の大統領選挙は大きな騒ぎが無く、裁判所の出番もなく終わったようだ。だから14歳の少女がガンを使うこともなく終わった。と思つていたんだが、どうだ。世界中でのピツクリが起きたぜ。民主主義の国として信奉されてきた国でダゼ。

▲トランプの残る任期が10日そこそこしかないここに至つてですヨ。しかも、彼の絶対の地盤であるジョージアの選挙でも負けが決まつてからもまだ諦めがつかないんだ。結果、世界の笑いものになる「アマリと言えはジンネネ」といえる醜態を起こしたんだナ。

▲ま・彼のアメリカンファーストの成れの果てという事なんだろうが。こんな結果になる事だったんだ。この事態を引き起こした仕掛

虐殺や略奪の始まりをつくつたとして、人種差別に、「黒人の命も大切だ」と訴える人達が像を破壊する事件が、全米各地で起きている。



（ボストンの頭部破壊のコロンブス像）

▲この人をノーベル平和賞に推薦したって人が日本にいたんだ。たなく。彼の地でゴルフを楽しんだ人は、日本の国会で118回もウソをついたんだと。自公という団体は、政府の長から立法府と自分らもコケにされたのに、これを追求しないと云うんだぜ。

▲日本も民主主義を取り戻さなければならならいんだが、大統領選挙期間中・俺には特に気になった事があつたんです。それは、「社会主義」という言葉に特別な事情があるらしく、トランプが相手攻撃に何回か使つた事なんだ。▲日本にも「社会」や「社会主義」は、文字や口にする事が出来なかつた時代があつたんだ。僅か70年前の事ではなかつたかナ。米国には、この文字を嫌うどんな事情があるんだろうか。（石川）